

# アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、  
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。



バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**  
www.valuegolf.co.jp

## 『ありがとう。宮里藍選手』

宮里藍選手が9月17日のエビアン選手権で通算1オーバーの32位の成績を残し、現役生活に別れを告げた。

私が、宮里選手と初めて出会ったのは2000年6月の「サントリーレディス」。当時14歳だった彼女は、まだ中学校の制服姿で、関係者の人たちに礼儀正しく挨拶をしていた。堂々としたつも、自然体で、とても中学生とは思えず、感心した。ハキハキとした第一印象を、いまでも鮮明に記憶している。

宮里選手の魅力は数多くあるが、一つ挙げるとすると、多くの人たちの言葉に耳を傾ける「聞く力」ではないだろうか。そう感じたのには、こんなことがあったからだ。米ツアーに参戦する前、世界ナンバーワンで女子メジャー10勝を含む米ツアー通算72勝を挙げた、アニカ・ソレンスタムと競演する機会があった。このテレビマッチで司会を務めた私に、宮里選手は「米ツアーで活躍するために必要なことを（ソレンスタムに）質問してもらえませんか」と頼んだのだ。

ソレンスタムは、米ツアーで活躍するためのポイントとして「食事」「英語」「移動」を挙げ、「食事」に関しては、米国は高カロリーな食べ物が多いためバランスのいい食事をとることを勧めた。「英語」は米国で戦うために必須、「移動」は米国内に時差があるため、日本とは比べものにならない厳しさがあるとして、覚悟を求めた。

宮里はペンで私が訳したソレンスタムの言葉をゴルフグローブに書き「偉大な選手の大切な言葉ですから」とキャディーバッグに忍ばせた。

この時に、真摯に答えてくれた女子プロゴルフ界のスーパースター、アニカ・ソレンスタムは、37歳で引退をしている。引退後は、フロリダ州オーランドのギンリゾット内に「アニカ・アカデミー」を設立し、自身の指導者であるカイ・フッサーをアカデミーの筆頭トレーナーに据え、スイングコーチのヘンリー・ルイスらを招き入れて、身体作りや技術を学べる場所を作った。その翌年には「アニカ財団」を設立。まだゴルフを知らない、あるいはゴルフをしたいけれど経済的に難しい環境下にある子供たちを奨学生として受け入れ、全面的にサポートしていくためのものだ。

さらに、コース設計にも着手。中国のミッシェンヒルズに始まり、マレーシア、フィリピン、再び中国。ソレンスタムの素晴らしきところは、彼女の本意が、ゴルフの楽しさや素晴らしさを知らない人々に知ってもらうことにある、という点だ。

人間は、いつの間にも、知らず知らずのうちに誰かの助けを借りている。ゴルフは、その「誰か」を知ることのできるスポーツである。



戸張 捷 Sho Tobar

1945年、東京生まれ。高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業（現SRIスポーツ）に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。